

平成25年度 戦没者追悼式

戦没者の霊を慰め、平和への誓いを新たにします。関係の方はご出席ください。

日時 6月22日(土) 午前10時
場所 夢ホール(文化会館)
問い合わせ 市民生活課
(☎22-11116)へ

を次世代へ」

講師 日本女性会議(男女共同参画) 2013あなん実行委員 渡辺純子さん

※託児あり(要申込…6月18日(火)まで)

※お車でお越しの方は、乗り合わせにご協力ください。
問い合わせ 人権・男女参画課(☎22-3094)へ

講師 法テラス徳島所長 弁護士 木村清志さん

※入場は無料です。

問い合わせ 市民生活課(☎22-11116)へ

勤労青少年ホーム 短期講座「浴衣着付け」 受講者募集

日時 6月12日(毎週水曜日) 午後7時～9時(全4回)
場所 勤労青少年ホーム
定員 20人

対象者 市内に居住または職場を有する35歳までの勤労青年(学生を除く)

受講料 無料

※当ホーム未登録者は、入会費1000円が必要

講師 中岡百合枝さん

持ってくるもの 浴衣、半幅帯、肌襦袢、コーリンベルト

1本、伊達締め、腰ひも2本、洗濯ばさみ1個(襟止め用)、タオル2～3本ほか

申込締切日 6月7日(金)

申込み・問い合わせ 勤労青少年ホーム(☎42-4572)へ(受付時間 土・日・祝日を除く午後1時～9時)

阿南市身体障害者連合会 定期総会・体育大会開催

障がいのある方が健康増進や体力の向上を図り、市民の方に社会福祉に対する理解を深めていただくことを目的に開催します。

日時 6月23日(日) 午前10時～

場所 スポーツ総合センター

参加できる方 ▼市内に在住し、障害者手帳の交付を受けている方 ▼この大会に賛同される市民の方

持ってくるもの 連合会費500円と体育館シューズ

申込締切日 6月7日(金)

申込み・問い合わせ 社会福祉協議会(☎23-7288)へ

年金相談コーナー



Q もうすぐ60歳になりませんが、老齢基礎年金を受けられる資格期間を満たしていません。どのようにすればよいのでしょうか。

A 老齢基礎年金を受けするためには、20歳から60歳になるまで公的年金に加入して、原則として最低25年間保険料を納めなければなりません。(免除・納付猶予期間を含む)

あなたのように、受給資格期間が25年を満たしていない人や、25年以上あるが満額となる40年に満たず年金額を増やしたい人などが、60歳から65歳になるまでの間に任意加入することがあります。

また、昭和40年4月1日以前に生まれた人については、70歳になるまでの間に年金の受給資格期間を満たすまで、特例的に任意加入することができます。手続きは、60歳に到達した日以降、任意加入の申出書と口座振替の申出書の両方の提出が必要です。

問い合わせ 保険年金課(☎22-11118)へ

6月1日～7日は 水道週間!

～スローガン～

「復興の未来と生命(いのち)照らす水」

私たちの暮らしに欠かすことのできない水は限りある貴重な資源です。水への理解を深め、暮らしに役立て、節水を心掛けましょう。

こんなときは水道の届け出を

- ・新しく水道を使うとき
- ・引越しするとき
- ・長期間、使用しないとき
- ・使用者の名義が変わるとき
- ・そのほか変更があるとき

水道メーター・水道管の移設

家の建て替えや庭の工事等で水道メーターや水道管を移設する場合は、市指定水道工事店を通じて申請書を提出してください。

※費用は自己負担になります。

水道料金の納付は便利な口座振替のご利用を!

口座振替の手続きは市内の金融機関でできます。

問い合わせは

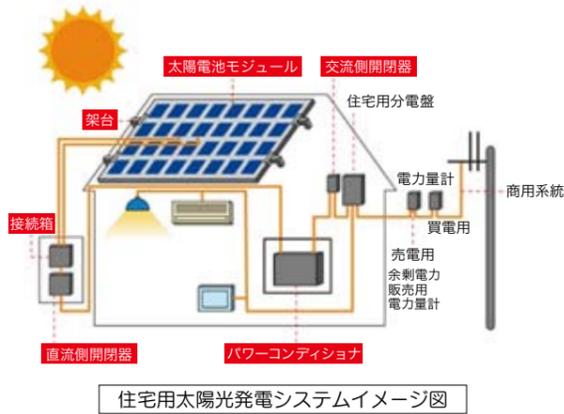
- 水道の届け出および水道料金等に関すること
阿南市水道料金お客様センター
(業務課内☎22-0587)へ
- 道路からの漏水、修繕工事、給水装置の新設と変更工事および水道工事店に関すること
工務課(☎22-3295)へ

平成25年度 阿南市住宅用太陽光発電システム導入支援事業補助金

地球温暖化対策の推進および低炭素型社会の形成を図ることを目的に、住宅用太陽光発電システムを設置される方を対象に補助金を交付します。

【対象となる住宅用太陽光発電システムの要件】

- ▷ 太陽電池出力は2kW以上10kW未満であること。
- ▷ 増設等の場合においては、既設分を含めて10kW未満であること。
- ▷ 太陽電池モジュール、パワーコンディショナを同時に設置すること。
- ▷ 設置する太陽電池モジュールは、財団法人電気安全環境研究所の「太陽電池モジュール認証」相当の認証を受けているもの、または、同等以上の性能、品質が確認されているものであり、いずれの場合も太陽光発電普及拡大センター（J-PEEC）により登録されたものであること。
- ▷ 未使用品であること。
- ▷ 中古品またはリースで設置する場合は対象外。
- ▷ 新築・既築・建売の集合住宅および併用住宅は対象外。
- ▷ 当該太陽光発電システムについて、市が行っているほかの制度による助成を受けていないこと。



- 【補助金額】 1件あたり5万円（補助金は同一住宅・同一人につき1回限り交付します。）
- 【募集件数】 100件（※補助金交付予定件数が100件に到達した段階で受付を終了します。）
- 【申請方法】 環境保全課で申請書類をお渡しします。くわしくは、その際に説明します。
- 【申請受付期間】 8月1日(木)～11月29日(金)
- 【実績報告書提出期限】 工事完了日（電力の受給開始日）から起算して30日以内または、平成26年3月14日(金)のいずれか早い日。（期日厳守）
- 【問い合わせは】 環境保全課（☎0884-22-3413）へ

平成25年度後期高齢者医療制度の健康診査について

後期高齢者医療制度に加入されている方を対象に、糖尿病などの生活習慣病の早期発見や重症化の予防のため、健康診査を実施します。健康診査の対象となる方には「健康診査受診券」を送付しますので、ぜひ受診しましょう。

健診項目 身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査 受診費用 無料

対象者	健康診査申込書の送付時期（予定）	健康診査受診券の送付時期	受診期間
入院をされていない方または生活習慣病と診断されていない方	—	8月（予定）	受診券を受け取ってから、平成25年12月31日まで
上記以外の方で、平成25年4月以降に血液検査や尿検査をされていない方	受診を希望される方は、8月以降に保険年金課窓口に備え付ける健康診査申込書によりお申込みください。締切は、11月末頃を予定しています。		
平成25年1月1日～9月30日までの間に後期高齢者医療制度に加入された方	1月1日～3月31日に加入	5月	
	4月1日～5月31日に加入	6月	
	6月1日～7月31日に加入	8月	加入時期に応じ、健康診査申込書を送付します。入院をされていない方または生活習慣病と診断されていない方で受診を希望される方は、広域連合事務局までお申し込みください。受診券を後日送付します。
	8月1日～9月30日に加入	10月	

10月以降に後期高齢者医療制度に加入される方は健康診査の対象外となります。後期高齢者医療制度に加入するまでに、現在加入されている健康保険で健康診査を受診してください。また、障害者支援施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、介護保険施設等に入所されている方は、健康診査の対象外となります。生活習慣病とは、生活習慣が発症原因に深く関わっていると考えられる病気で、糖尿病、高血圧性疾患、脂質異常症、虚血性心疾患、その他心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化、その他脳血管疾患、動脈硬化があります。問い合わせは 徳島県後期高齢者医療広域連合事務局事業課（☎088-677-3666）または、保険年金課（☎22-8064）へ

「第12回全国歴史の道会議 徳島県大会」

成功させよう！ 全国大会

2013年
10月

「日本女性会議〈男女共同参画〉2013 あなん」

分科会活動の紹介(5)

「ワーク・ライフ・バランス」分科会

野村誠也さん（下大野町）

女性と男性が協力して、活力のある明るい日本の未来を創造する分科会です。「WLBショー（わたしの自慢）」をテーマに、ワーク（仕事）とライフ（生活）のバランスを良くする取組を、全国から選ばれた8人が発表します。男性の育児休業やサテライトオフィス等、多様性を生かした働き方やこれからの企業・地域社会のあり方が提案されることでしょう。子育てや雇用の見直しに、一石を投じるヒントのある分科会をめざしています。

「農林漁業」分科会

栗飯原富士子さん（中林町）

テーマは「生命を育み希望にあふれる地域づくり」です。第一次産業は地域と密接な関係にあり、生命の維持にとってとりわけ重要です。農林水産業において、さまざまな問題を抱えながらも生きがいと責任を持って取り組まれている現状や今後の展望、魅力ある地域づくりについて話し合っています。

問い合わせは 日本女性会議〈男女共同参画〉2013あなん実行委員会事務局（☎2413750）へ

全国歴史の道会議に向けて

今年の10月19日(土)・20日(日)に開催される「全国歴史の道会議」に向けて、徳島県・阿南市・勝浦町による担当者会議が4月12日と25日に行われました。会議では、講演会の内容やウォーキングイベントについて話し合いました。5月9日には実行委員会が設立し、大会要項が承認されました。（くわしくは、次号でお知らせします。）



また、加茂谷地区に所在する遍路道の清掃活動やボランティアガイド育成などを目的とした組織を立ち上げるために、地元住民が活動しています。4月16日、「かも道」に誘導サイン・遺跡説明板を約20人の地元ボランティアで設置しました。5月15日には「加茂谷へんろ道の会」が結成され、全国大会に向けて機運が高まっています。



説明板を設置する地元住民

問い合わせは 文化振興課（☎22-1798）へ